



オンボード障害ロギング コマンド

このモジュールでは、ルータでのシステムモニタリングのためにオンボード障害ロギング (OBFL) を設定するときに使用する Cisco IOS XR ソフトウェア コマンドについて説明します。OBFL は、Field-Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) のブート、環境、および重大なハードウェア障害に関するデータを収集し、その情報を FRU の不揮発性メモリに保存します。この情報は、障害その他のエラーが発生した際に、トラブルシューティング、テスト、および診断に使用されます。

OBFL はデフォルトでオンになっているため、カードをインストールするとただちにデータが収集され保存されます。問題が発生すると、このデータから過去の環境条件、アップタイム、ダウンタイム、エラー、その他の動作状態に関する情報が読み取られます。



注
意

OBFL はすべてのカードで、デフォルトでアクティブになっています。これを非アクティブにはしないでください。OBFL は、FRU の問題を診断し、FRU データの履歴を表示するために使用されます。

関連資料

OBFL の概念、設定作業、および例については、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router System Monitoring Configuration Guide*』の「*Onboard Failure Logging Services*」モジュールを参照してください。

ロギングの概念、設定作業、および例については、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router System Monitoring Configuration Guide*』の「*Implementing Logging Services*」モジュールを参照してください。

アラーム管理およびロギング関連のコマンドについては、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router System Monitoring Command Reference*』の「アラーム管理およびロギング関連コマンド」モジュールを参照してください。

アラームとロギング関連の概念、設定作業、および例については、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router System Monitoring Configuration Guide*』の「*Implementing Alarm Logs and Logging Correlation*」モジュールを参照してください。

- [clear logging onboard, 3 ページ](#)

- [hw-module logging onboard, 6 ページ](#)
- [show logging onboard, 9 ページ](#)

clear logging onboard

1つのノードまたはすべてのノードからOBFLロギングメッセージをクリアするには、管理EXECモードで **clear logging onboard** コマンドを使用します。

```
clearloggingonboard[all|cbc{obfl{fansfan-tray-slot [[locationnode-id]]|corrupted-files|diagnostic|environment|error|poweron-time|temperature|uptime|voltage}][locationnode-id]
```

構文の説明

all	すべての OBFL ログをクリアします。
cbc	CAN バス コントローラ (CBC) のコマンドをクリアします。
obfl	OBFL EEPROM をクリアします。
fans fan-tray-slot	特定のファントレイ スロットをクリアします。
location node-id	(任意) 指定したノードから OBFL メッセージをクリアします。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
corrupted-files	破損ファイルの情報をクリアします。
diagnostic	OBFL ログからオンライン診断情報をクリアします。
environment	OBFL ログから環境情報をクリアします。
error	syslog 情報をクリアします。
poweron-time	初回カスタマー電源投入時間をクリアします。
temperature	温度情報をクリアします。
uptime	アップタイム情報をクリアします。
voltage	電圧情報をクリアします。
continuous	継続情報をクリアします。
historical	履歴情報をクリアします。

コマンド デフォルト

すべてのノードからすべての OBFL ロギング メッセージがクリアされます。

コマンド モード

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てが原因でコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

clear logging onboard コマンドを使用すると、すべてのノードから OBFL メッセージがクリアされます。**clear logging onboard** コマンドを **location node-id** キーワード/引数と共に使用すると、特定のノードの OBFL メッセージがクリアされます。指定されたノードが存在しない場合は、エラーメッセージが表示されます。



注意

clear logging onboard コマンドは、1つのノードまたはすべてのノードから、すべての OBFL データを完全に削除します。OBFL データは FRU の問題の診断および解決に使用されるため、明確な理由なしに OBFL ログをクリアすることは避けてください。



注意

OBFL がカード上でアクティブに実行されている場合、**clear logging onboard** コマンドを発行すると、後で破損したログや不完全なログが生成されることがあります。OBFL は必ず、このコマンドを発行する前にディセーブルにしてください。

タスク ID

タスク ID	操作
logging	読み取り

例

次の例では、システム内のすべてのノードの OBFL データがクリアされます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router (admin) # clear logging onboard
```

関連コマンド

コマンド	説明
hw-module logging onboard , (6 ページ)	OBFL をイネーブルまたはディセーブルにします。

コマンド	説明
show logging onboard, (9 ページ)	OBFL メッセージを表示します。

hw-module logging onboard

オンボード障害ロギング (OBFL) をディセーブルにするには、管理コンフィギュレーションモードで **hw-module logging onboard** コマンドを使用します。OBFL を再度イネーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

hw-module {all| subslotnode-id} loggingonboard[disable| severity {alerts| emergencies}]

nohw-module {all| subslotnode-id} loggingonboard[disable]

構文の説明

all	すべてのノードの OBFL をイネーブルまたはディセーブルにします。
subslot node-id	指定したノードの OBFL をイネーブルまたはディセーブルにします。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
disable	OBFL をイネーブルまたはディセーブルにします。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
severity	(任意) OBFL ストレージデバイスに記録する syslog メッセージの重大度を指定します。
alerts	emergency および alert の syslog メッセージを両方記録するように指定します。デフォルトは alerts キーワードです。
emergencies	emergency の syslog メッセージだけを記録するように指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトでは、OBFL ロギングはイネーブルになっています。
severity: 1 (alerts) および 0 (emergencies)

コマンド モード

管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てが原因でコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

hw-module logging onboard コマンドを使用すると、OBFL をイネーブルまたはディセーブルにできます。

- OBFL をディセーブルにするには、**disable** キーワードを使用します。OBFL はデフォルトでイネーブルになっています。

hw-module {all | subslot node-id} logging onboard disable

- OBFL をイネーブルにするには、**hw-module logging onboard** コマンドの **no** 形式を **disable** キーワードと共に使用します。OBFL はデフォルトでイネーブルになっています。このコマンドは、OBFL をディセーブルにした場合だけ使用します。

no hw-module {all | subslot node-id} logging onboard disable

- OBFL をイネーブルにして設定をデフォルトのメッセージ重大度に戻すには、**hw-module logging onboard** コマンドの **no** 形式を **severity** キーワードと共に使用します。

no hw-module {all | subslot node-id} logging onboard severity

OBFL 機能がディセーブルになっている場合は、既存の OBFL ログが保持されます。OBFL データ収集を再開するには、OBFL 機能を再度イネーブルにします。



(注)

新しいノードを挿入し、そのスロットについて OBFL をイネーブルにすると、新しいノードで OBFL がイネーブルになります。ルータからカードを取り外して別のルータに挿入すると、そのカードは新しいルータで OBFL 設定を有効にします。

タスク ID

タスク ID	操作
logging	読み取り、書き込み

例

次の例は、すべてのカードの OBFL をディセーブルにする方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# hw-module all logging onboard disable
```

次の例は、1 つのカードの OBFL をディセーブルにする方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# hw-module subslot 0/2/CPU0 logging onboard disable
```

次の例は、OBFL を再度イネーブルにする方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# no hw-module all logging onboard disable
```

次の例は、重大度が 0 (emergency) に設定されている syslog メッセージだけをストレージデバイスに保存する方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# hw-module subslot 0/2/CPU0 logging onboard severity emergencies
```

次の例は、重大度が 0 (emergency) および 1 (alert) に設定されている syslog メッセージをストレージ デバイスに保存する方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# hw-module subslot 0/2/CPU0 logging onboard severity alerts
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear logging onboard , (3 ページ)	1つのノードまたはすべてのノードから、OBFL ロギング メッセージをクリアします。
show logging onboard , (9 ページ)	OBFL メッセージを表示します。

show logging onboard

OBFL メッセージを表示するには、管理 EXEC モードで **show logging onboard** コマンドを使用します。

```
showloggingonboard[all|cbc{dump-all dump-range{start-address| end-address}|
most-recent{fansfan-tray-slot| [locationnode-id]}| diagnostic| environment| error| temperature| uptime|
voltage}][all| continuous| historical| static-data][detail| raw| summary][locationnode-id][verbose]
```

構文の説明

all	すべてのファイル情報を表示します。
cbc	CAN バス コントローラ (CBC) OBFL コマンドを表示します。
dump-all	すべての OBFL レコードを表示します。
dump-range {start-address end-address}	特定の範囲の OBFL EEPROM データを表示します。開始および終了アドレスの範囲は 0 ~ 4294967295 です。
most-recent	最後の 5 個の OBFL データ レコードを表示します。
fans fan-tray-slot	特定のファントレイ スロットを表示します。
location node-id	指定したノードからの OBFL メッセージを表示します。node-id 引数は、rack/slot/module の形式で入力します。
diagnostic	診断情報を表示します。
environment	システム環境情報を表示します。
error	メッセージアプリケーションからの出力を表示します。
temperature	温度情報を表示します。
uptime	OBFL のアップタイムを表示します。
voltage	電圧情報を表示します。
continuous	継続情報を表示します。
historical	履歴情報を表示します。
static-data	システム記述子データを表示します。
detail	詳細なロギング情報を表示します。

raw	生の OBFL データを表示します。
summary	OBFL ログギング情報のサマリーを表示します。
verbose	内部デバッグ情報を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 管理 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てが原因でコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

show logging onboard コマンドを使用すると、OBFL のすべてのログギングメッセージを表示できます。

コマンドの出力を絞り込むには、**show logging onboard** コマンドと共にオプションのキーワードのいずれかを入力します。

location node-id キーワード/引数を使用すると、特定のノードの OBFL メッセージを表示できます。

タスク ID	タスク ID	操作
	logging	読み取り

例 次の例は、OBFL 機能によるアップタイム情報を表示したものです。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router (admin) # show logging onboard uptime detail location 0/7/cpu0
-----
UPTIME CONTINUOUS DETAIL INFORMATION (Node: node0_7_CPU0)
```

```

-----
The first record      : 01/05/2007 00:58:41
The last record     : 01/17/2007 16:07:13
Number of records   :          478
File size           :          15288 bytes
Current reset reason: 0x00
Current uptime      :          0 years  0 weeks 0 days  3 hours  0 minutes
-----
Time Stamp          |
MM/DD/YYYY HH:MM:SS | Users operation
-----
01/05/2007 01:44:35  File cleared by user request.
-----

```

次の例は、温度に関する継続情報を表示したものです。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# show logging onboard temperature continuous

RP/0/RSP1/CPU0:ios(admin)#show logging onboard temperature continuous
Fri Dec 11 02:22:16.247 UTC

```

```

-----
TEMPERATURE CONTINUOUS INFORMATION (Node: node0_RSP0_CPU0)
-----
Sensor                | ID |
-----
Inlet0                 | 0x1
Hotspot0               | 0x2
-----
Time Stamp            |Sensor Temperature C
MM/DD/YYYY HH:MM:SS |  1  2  3  4  5  6  7  8  9  10
-----
11/24/2009 20:55:28   23  36
11/24/2009 21:08:47   22  36
+32 minutes           22  37
+32 minutes           22  37
-----

```

次の例は、温度に関する生の情報を表示したものです。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# show logging onboard temperature raw

Feature: Temperature
node: node0_2 CPU0, file name: nvram:/temp_cont, file size: 47525
00000000: 00 29 01 02 45 79 d8 a8 00 00 00 00 00 00 ba 37  ..)..Ey.....7
00000010: aa 0d 00 00 45 79 d8 a8 1c 18 2b 2c 2f 1d 28 27  ...Ey....+./.(
00000020: 1b 26 2a 20 27 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 da  .&* '.....Ey.
00000030: 2b 00 00 00 00 00 00 ba 38 ca 0d 00 06 00 00 00  +.....8.....
00000040: 0f 00 00 00 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 db ae  .....Ey..
00000050: 00 00 00 00 00 00 ba 39 ca 0d 00 06 00 00 00 00  .....9.....
00000060: 00 f0 00 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 dd 32 00  .....Ey.2.
00000070: 00 00 00 00 00 ba 3a ca 0d 00 06 00 00 00 00 00  .....:.....
00000080: 00 00 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 de b8 00 00  .....Ey....
00000090: 00 00 00 00 ba 3b ca 0d 00 06 00 00 00 00 00 10  .....;.....
000000a0: 00 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 e0 3c 00 00 00  .....Ey.<...
000000b0: 00 00 00 ba 3c ca 0d 00 06 00 00 01 00 00 00 00  .....<.....
000000c0: 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 e1 be 00 00 00 00  .....Ey.....
000000d0: 00 00 ba 3d ca 0d 00 06 11 00 00 00 00 00 00 00  ...=.....
000000e0: 00 fa fa 00 1f 01 02 45 79 e3 43 00 00 00 00 00  .....Ey.C.....
000000f0: 00 ba 3e ca 0d 00 06 ff 00 0f 00 00 00 00 00 00  ..>.....
00000100: fa fa 00 1f 01 02 45 79 e4 c6 00 00 00 00 00 00  .....Ey.....
00000110: ba 3f ca 0d 00 06 00 00 00 00 00 00 00 00 fa  ..?).....
00000120: fa 00 1f 01 02 45 79 e6 49 00 00 00 00 00 00 ba  .....Ey.I.....
00000130: 40 ca 0d 00 06 00 00 00 00 00 00 00 00 fa fa  @.....
00000140: 00 1f 01 02 45 79 e7 cc 00 00 00 00 00 00 ba 41  .....Ey.....A
00000150: ca 0d 00 06 00 00 00 10 00 f0 00 00 00 fa fa 00  .....
00000160: 1f 01 02 45 79 e9 4f 00 00 00 00 00 00 ba 42 ca  ...Ey.O.....B.
00000170: 0d 00 06 00 00 00 f0 00 10 00 00 00 fa fa 00 1f  .....
00000180: 01 02 45 79 ea d2 00 00 00 00 00 ba 43 ca 0d  ..Ey.....C..

```

show logging onboard

```

00000190: 00 06 00 00 01 01 00 00 00 00 00 fa fa 00 1f 01 .....
000001a0: 02 45 79 ec 55 00 00 00 00 00 00 ba 44 ca 0d 00 .Ey.U.....D...
000001b0: 06 01 00 00 10 00 00 00 00 00 00 fa fa 00 1f 01 02 .....
000001c0: 45 79 ed d8 00 00 00 00 00 00 00 ba 45 ca 0d 00 06 Ey.....E....
000001d0: 0f 00 0f ff 00 00 00 00 00 00 00 fa fa 00 1f 01 02 45 .....E

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear logging onboard, (3 ページ)	1つのノードまたはすべてのノードから、OBFL ログギング メッセージをクリアします。
hw-module logging onboard, (6 ページ)	OBFL をイネーブルまたはディセーブルにします。